

12月定例記者会見 市長あいさつ

皆さん、こんにちは。

今年も残すところ、あとわずかとなりました。皆さまいかがお過ごしでしょうか。

年末年始が近づくこの時期は、ご家族やご友人と出かけたり集まったりする機会が増える一方で、寒さが一段と厳しくなり、体調を崩しやすくなる時期でもございます。

特に、インフルエンザや風邪などの感染症が流行しやすい季節でもありますので、皆さんには感染症対策など、体調管理には十分ご留意をいただきながら、健やかに年末年始をお過ごしいただけますよう、心から願っております。

また、年明け1月には、本日の資料にも添付してございますが、「取手市消防出初式」や「とりで利根川たこあげ大会」、「とりで利根川どんどまつり」など、市民の皆さんに楽しんでいただける新年の伝統行事の開催を予定しております。

皆さんには新年を祝うこれらのイベントに、ぜひ、ご参加いただき、新しい一年のスタートとなる、取手の新春を感じていただければ幸いです。

それでは、本日の発表事項に移ります。

はじめに、「山王小^{さんのお}6年生「卒業証書を山王産の和紙でつくる」」についてです。

取手市立山王小学校^{さんのお}6年生児童が、東京藝術大学取手キャンパスの紙漉き工房^{かみす}を訪れ、山王の田んぼで稲刈り^{さんのかり}をした際に出た藁^{わら}を混ぜ込んだ和紙^すを漉き、自分自身の卒業証書^すを手づくりいたします。

山王小学校では、令和3年度から小規模特認校として、東京藝術大学の先生や学生と一緒にアートを通した教育活動「山王プログラム」を行っており、その一環として、新たに今回の手づくり卒業証書を実施するものでございます。

卒業を控えた6年生児童には、一生の宝物となる卒業証書を、自分で漉いた和紙でつくることによって、仲間に感謝し、ふるさとをいつまでも大切にしようとする心を養つていただければと思っています。

次に、「児童が考案したCO₂検知ロボ「だっちー」が大学生の協力で現物として完成」についてです。

取手市立取手西小学校では、総合的な学習の時間において、サステナブル学習の一環として「脱炭素チャレンジ」の取り組みを行っております。

この取り組みの中で、現在6年生の児童たちが考案した

マスコットキャラクター「だっちー」が、大学生の技術と支援により具現化され、ロボットとして完成しました。

製作されたロボット版「だっちー」には、二酸化炭素を検知すると光る機能が搭載されており、この機能を生かしたさらなる取り組みの発展が期待されるところでございます。

この完成した「だっちー」は、取手西小児童に寄贈され、今後の学習や発信活動に活用される予定となっております。

以上で、私からの説明を終わります。

今年一年、大変お世話になりました。ありがとうございました。

皆さま、良いお年をお迎えください。